



# 『拡大版SDGsアクションプラン2018』のポイント

政府の  
主要方針

『経済財政運営と改革の基本方針2018』※1: 積極的平和主義の旗の下、SDGsの実現に向け、人間の安全保障に関わるあらゆる課題の解決に、日本の「SDGsモデル」を示しつつ、国際社会での強いリーダーシップを発揮する。  
『未来投資戦略2018』※2: 「Society 5.0」の国際的な展開は、世界におけるSDGsの達成に寄与。そのため、企業による取組を支援。

※1、2:平成30年6月15日閣議決定

## 世界に発信・展開する日本の「SDGsモデル」の方向性 (第4回SDGs推進本部会合で決定)

- 日本は、誰一人取り残さない社会を目指すSDGsの推進を通じて、創業や雇用の創出を実現し、**少子高齢化やグローバル化の中で実現できる、「豊かで活力ある未来像」を、世界に先駆けて示していく。**そのため、**日本ならではの「SDGsモデル」を構築。**
- 日本の「SDGsモデル」を特色付ける大きな柱として、次の三つを掲げつつ、『SDGs実施指針』における8つの優先分野に総力を挙げて取り組むため、政府の主要な取組を盛り込んだ。『拡大版SDGsアクションプラン2018』では、**主要な取組を含め更なる具体化・拡充を行うとともに、発信を強化。**

<p><b>I. SDGsと連動する「Society 5.0」の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● SDGsが掲げる社会課題や潜在ニーズに効果的に対応すべく、破壊的イノベーションを通じた「Society 5.0」や、「生産性革命」を実現。</li> <li>● 経団連「企業行動憲章」の改定を支持し、民間企業の取組を更に後押し。</li> </ul>	<p><b>II. SDGsを原動力とした地方創生、強靱かつ環境に優しい魅力的なまちづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 各地方のニーズや強みを活かしながらSDGsを推進し、地方創生や、強靱かつ環境に優しい魅力的なまちづくりを実現。</li> <li>● 政府が一体となって、先進的モデルとなる自治体を支援しつつ、成功事例を普及展開。</li> </ul>	<p><b>III. SDGsの担い手として次世代・女性のエンパワーメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 次世代や女性をエンパワーメント。</li> <li>● 国内では、「働き方改革」、「女性の活躍推進」、「人づくり革命」などを着実に実施。</li> <li>● 国際協力では、「人間の安全保障」に基づき、保健、女性、教育、防災等への支援を推進。</li> </ul>
---	--	---

第4回推進本部会合における指示を踏まえ

<p>日本の技術力を活かし、国際社会で「SDGsのための科学技術イノベーション(STI)」を主導:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 『SDGsのためのSTIロードマップ』の雛形等を策定、本年6月の国連STIフォーラム(日本が共同議長)等を通じ、ロードマップの重要性・必要性を発信。</li> <li>● 『統合イノベーション戦略』及び『知的財産戦略ビジョン』等において、SDGsをハイライト。</li> </ul> <p>SDGs経営やSDGsに資する海外展開を応援:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本企業がフロントランナーとしてSDGsを実現するため、『SDGs経営推進イニシアティブ』を推進。</li> </ul>	<p>自治体によるSDGs推進モデルを構築すべく、政府一体となって支援:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 29自治体を「SDGs未来都市」に選定。</li> </ul> <p>国際会議・フォーラムの機会を捉え、地方からSDGsの取組を発信:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● G20サミット・閣僚会合開催地から、SDGsの取組を推進・発信。</li> <li>● 2025年万博誘致でも、SDGs推進を発信。</li> </ul> <p>2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会をSDGs五輪に:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2020年東京オリパラ大会のための『持続可能な運営計画(第二版)』の公表。</li> </ul>	<p>次世代によるSDGs推進を後押し:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「次世代のSDGs推進プラットフォーム」の立ち上げを、年末までに準備。</li> </ul> <p>女性の活躍を官民リーダーが力を合わせ主導:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● WAW!・W20(G20エンゲージメント会合)を開催。</li> </ul> <p>国内外の「人づくり」のために行動:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2019年のG20・TICADに向けて、次世代を含め、保健・教育分野における取組を強化。</li> <li>● 子どもに対する暴力撲滅に関する国際イニシアティブとの政策連携と財政貢献。</li> </ul> <p>アジアで、「ビジネスと人権」を率先:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 『国別行動計画(NAP)』の策定作業を加速化。</li> </ul>
---	--	---

個別取組  
・発信

『SDGs実施指針』における8つの優先分野に関し、**SDGsを推進する取組を更に具体化及び拡充**

- SDGsに関する**官民の知見共有プラットフォームの立ち上げ**
- 7月の国連HLPFにおいて、「日本のSDGsモデル」を発信

# 『拡大版SDGsアクションプラン2018』における主要な取組

## 1. 「SDGsのための科学技術イノベーション」(STI for SDGs)

「総合科学技術・イノベーション会議」(CSTI)の下、「STI for SDGsタスクフォース」を設置し、以下を議論。

- Society 5.0**
  - 『統合イノベーション戦略』(6月15日閣議決定)の下、Society 5.0の実現に必要なSTIを活用し、SDGsの達成に向けて世界最高水準の取組を推進。
- 「STI for SDGsロードマップ」**
  - 世界に先駆けて「STI for SDGsロードマップ」を策定(2019年央まで)、国際社会に提示。各国のロードマップ策定を支援。
  - その第1弾として6月に開催された日本が共同議長を務める「国連STIフォーラム」等で同ロードマップの雛形を発信し、策定の機運を醸成。
- SDGsのマッチング・プラットフォーム**
  - 『統合イノベーション戦略』、『知的財産戦略ビジョン』等日本の技術シーズ等の知的資産と国内外のニーズをマッチングするプラットフォームのあり方を検討。



(『STI for SDGsロードマップ』雛形)

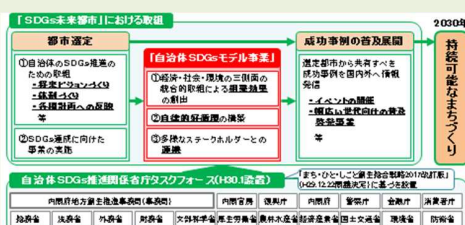
## 2. SDGs経営推進イニシアティブ

日本企業がフロントランナーとしてSDGsを実現するため、以下のとおり、SDGs経営推進イニシアティブを展開。

- ESG投資・対話の促進**
  - 企業と投資家の建設的な対話を促す「価値協創ガイダンス」の活用を表明するための**ロゴマークを策定し、ESG/SDGsの経営戦略への取込み等を開示する企業の情報発信をサポート。**機関投資家による宣言等を通じた企業と投資家の相互理解促進。「関西分科会」を設置し、地方の中小企業における開示・対話のあり方を検討し、情報発信を推進。
  - さらに、「価値協創ガイダンス」に位置づけられたSDGsの経営戦略への**組み込みを深掘りし、経営者と投資家のグローバルな対話・発信を推進。**
  - 気候変動問題等に取り組む企業の活動を「見える化」するための方策を検討。
- ベンチャー企業支援**
  - 世界に新しい革新を提供する企業を選出して**官民で集中支援**する新たなベンチャー支援プログラム「J-Startup」にて、SDGsへの貢献をモデル類型の1つに設定。民間支援機関、NEDO、ジェトロ等の関係機関が連携して、海外展開等を重点的に支援。
- Society 5.0海外展開プロジェクト組成支援**
  - 7月に設立予定の一般社団法人世界経済フォーラム第四次産業革命日本センターとも連携。民間主導によるSociety 5.0海外展開プロジェクト組成を促進。

## 3. 地方創生に向けた自治体SDGs推進事業

- 自治体におけるSDGsの達成に向けた取組は、地方創生の実現に資するため、その取組の推進が重要。
- 自治体によるSDGsの達成に向けた取組を公募し、優れた取組を提案する**29都市を「SDGs未来都市」として選定**、自治体SDGs推進関係省庁タスクフォースにより強力に支援する。
- その中で先導的な取組を行う**10都市を「自治体SDGsモデル事業」として選定**し、資金的に支援。
- 成功事例の普及展開等を通して、自治体におけるSDGsの達成に向けた取組の拡大を目指す。(都道府県及び市区町村におけるSDGsの達成に向けた取組割合: 2020年度目標30%)



### 【SDGs未来都市】(下線が自治体SDGsモデル事業に選定された自治体)

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| ①北海道     | ⑩神奈川県横浜市 | ⑲奈良県十津川村 |
| ②北海道札幌市  | ⑪神奈川県鎌倉市 | ⑳岡山県岡山市  |
| ③北海道二子町  | ⑫富山県富山市  | ㉑岡山県真庭市  |
| ④北海道下川町  | ⑬石川県珠洲市  | ㉒広島県     |
| ⑤宮城県東松島市 | ⑭石川県白山市  | ㉓山口県宇部市  |
| ⑥秋田県仙北市  | ⑮長野県     | ㉔徳島県上勝町  |
| ⑦山形県飯豊町  | ⑯静岡県静岡市  | ㉕福岡県北九州市 |
| ⑧茨城県つくば市 | ⑰静岡県浜松市  | ㉖長崎県壱岐市  |
| ⑨神奈川県    | ⑱愛知県豊田市  | ㉗熊本県小国町  |
|          | ⑳三重県志摩市  |          |
|          | ㉑大阪府堺市   |          |

## 4. SDGsウェブプラットフォーム等

様々なステークホルダーによるSDGsの取組事例を共有するウェブ・プラットフォームを6月に創設し、国内の更なる行動につなげるとともに、海外に発信する。



目標毎や、ステークホルダー毎に検索可能

また、SDGs人材の育成を加速化する一環として、**学校現場等における実践的なSDGsの教育に係るベストプラクティスを収集・公表。**



# 政府によるSDGsを推進するための取組一覧

2018年は、「日本SDGsモデル」の方向性を踏まえつつ、**同モデルの具体化に向けて、『SDGs実施指針』の8分野に関する政府の主要な取組に注力**する。これら取組も含め、**官民のベストプラクティスを蓄積・共有し、得られた知見・技術を地球規模に展開**することで、国内外におけるSDGs達成のためのより幅広い取組につなげていく。

- 『**経済財政運営と改革の基本方針2018**』(抜粋(平成30年6月15日閣議決定)):  
積極的平和主義の旗の下、持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向け、貧困対策や保健衛生、教育、環境・気候変動対策、女性のエンパワーメント、法の支配など、人間の安全保障に関わるあらゆる課題の解決に、日本の「SDGsモデル」を示しつつ、国際社会での強いリーダーシップを発揮。
- 『**未来投資戦略2018**』(要約(平成30年6月15日閣議決定)):  
「Society 5.0」の国際的な展開は、世界におけるSDGsの達成に寄与。企業による取組を支援し、国連STIフォーラム、2019年に日本で開催するG20や、国連ハイレベル政治フォーラム(特に、首脳級会合)において、積極的に発信。

## 『SDGs実施指針』の8分野に関する取組を更に具体化・拡充

※取組の詳細は次頁以降に掲載  
(青:『SDGsアクションプラン2018』にも掲載  
赤:『拡大版SDGsアクションプラン2018』で新規追加)

<p><b>①あらゆる人々の活躍の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革の着実な実施</li> <li>女性の活躍推進</li> <li>ダイバーシティ・バリアフリーの推進</li> <li>子供の貧困対策</li> <li>次世代の教育振興</li> <li>消費者等に関する対応</li> <li>若者・子供、女性に対する国際協力</li> <li>人道支援の推進</li> </ul> <p>等</p> 	<p><b>②健康・長寿の達成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データヘルス改革の推進</li> <li>国内の健康経営の推進</li> <li>ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ推進のための国際協力</li> <li>感染症対策をはじめ医療の研究開発</li> <li>食料安全保障と栄養改善に向けたイニシアティブとアプローチ</li> </ul> <p>等</p> 	<p><b>③成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知財を通じた貢献、基盤となる技術・データ、人材育成</li> <li>未来志向の社会づくり(「Connected Industries」・「Construction」推進等)</li> <li>途上国の科学技術イノベーションや産業化に関する国際協力</li> <li>地方創生や未来志向の社会づくりを支える基盤・技術・制度</li> <li>自治体SDGsモデル事業の実施</li> <li>農村漁村の活性化、地方等の人材育成</li> <li>農業・食品産業のイノベーション推進等</li> </ul> <p>等</p> 	<p><b>④持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能で強靱なまちづくり(「コンパクトネットワーク」推進 防災に資する廃棄物処理・浄化槽等の整備等)</li> <li>戦略的な社会資本の整備</li> <li>「レジリエント防災・減災」の構築や、災害リスク/ハザardsの強化等</li> <li>質の高いインフラの推進</li> </ul> <p>等</p> 	<p><b>⑤省エネ・再エネ、気候変動対策、循環型社会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>徹底した省エネの推進</li> <li>再エネの導入促進</li> <li>エネルギー科学技術に関する研究開発の推進</li> <li>循環型社会の構築(東京オリンピック・パラリンピックに向けた持続可能性の配慮等)</li> <li>国際展開・国際協力</li> <li>気候変動対策や、気候変動影響評価・適応推進</li> <li>食品廃棄物の削減や活用</li> <li>持続可能な消費の推進</li> </ul> <p>等</p> 	<p><b>⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な農業の推進や、林業の成長産業化</li> <li>「国立公園満喫プロジェクト」推進</li> <li>世界の持続可能な森林経営の推進</li> <li>地域循環共生圏の構築</li> <li>総合的海洋観測網の構築</li> <li>海洋資源の持続的利用推進</li> <li>海洋ゴミ対策の推進</li> <li>PM2.5等の総合対策</li> <li>地球観測衛星を活用した課題解決</li> </ul> <p>等</p> 	<p><b>⑦平和と安全・安心社会の実現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの不慮の事故、性被害の防止</li> <li>子どもの人権問題への対応</li> <li>女性に対する暴力根絶</li> <li>犯罪や非行をした者の再犯防止</li> <li>公益通報者保護制度の整備・運用</li> <li>「法の支配」の促進に関する国際協力</li> <li>平和のための能力構築</li> <li>マネー・ローンダリング、テロ資金供与等対策</li> </ul> <p>等</p> 
<p><b>⑧SDGs実施推進の体制と手段</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリング(国連におけるSDG指標の測定協力、統計に関する二国間交流・技術支援等)</li> <li>広報・啓発の推進(「ジャパンSDGsアワード」の実施等)</li> <li>2025年万博誘致を通じたSDGsの推進</li> </ul> 			<ul style="list-style-type: none"> <li>地方自治体や地方の企業の強みを活かした国際協力の推進</li> <li>市民社会等との連携(ジャパンプラットフォーム、民間活動支援等)</li> <li>国内でSDGs関連の課題解決に取り組む企業の支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境・社会・ガバナンス(ESG)投資の推進</li> <li>国内資金動員のための途上国における税制・税務執行支援</li> <li>途上国のSDGs達成に貢献する企業の支援</li> <li>フューチャー・アース構想の下での研究開発</li> </ul>	